

公開授業 学習指導案(本時の指導)

(1) 授業実施学年

○第2学年

(2) 本題材の目標(本研究: 題材③)

○消費者や使用者、製作者の視点だけでなく、育成者や管理者の視点(安全に育てる、環境、資源など)で、問題を見極め、課題を設定し、解決策を具体化できる力、また、解決しようとする実践的な態度を身に付ける。

(3) 本時の目標(本研究: ①問題発見と課題の設定)

○問題を見極め、課題を設定し、解決策を具体化できる(思考・判断・表現)

○イノベーションにつながる発想をしようとしている(主体的に学習に取り組む態度)

(4) 本時の展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意点等	評価規準 (評価方法)
導入	製品を開発するために必要なことを考える	これまで学習してきたことを踏まえ、今までとは違った視点で問題点を捉えられるよう促す	
展開1	題材の目標を知る 目標:『学校の机を使いやすくできる製作品を開発しよう』 本時の目標を知る 目標:『学校の机の問題点から課題を設定する』 ○以前考えた問題点を確認する ○それぞれの問題点を解決する方法について、意見を出し合いながら思考する ※電子ホワイトボード アプリケーションを利用し、感染拡大防止対策をしながら意見を出し合う	→以前の取り組みが、材料と加工の技術を学習する前の活動であるため、利用者・消費者の視点での思考が多いことに気付かせ、製作者としての視点も加えて思考するよう促す →電子ホワイトボード アプリケーションを使用する前に、自身の思考を紙に書く時間を確保する →あくまでも電子ホワイトボード アプリケーション内に意見を出させ、声を出しての話し合いは行わない	
展開2	○新たな視点を心得、問題点から解決すべき課題を設定する ○課題を解決するために必要な製品について話し合いなどを参考に考える ○考えた製品を具体的に表現する ○考えた製品を評価する	※課題を設定するための留意点や配慮事項 ・複数存在する問題点から、制約条件などを踏まえた課題を設定させる 制約条件の例 (教室の広さ・使用環境・管理場所など) →スケッチだけでなく、以下の4つの観点から製品を具体化させ、製作者や生産者などの視点を意識させる 具体化する観点【機能・構造・材料・加工法】	<思考・判断・表現> 問題を見極め、課題を設定し、解決策を具体化できている (ワークシートの記述) <主体的に学習に 散り組む態度> イノベーションにつながる発想をしようとしている (ワークシートの記述)
まとめ	問題解決の流れを理解し、課題を解決するために、適切かつ誠実に技術を工夫創造しようとしていくことの大切さを理解させる	→製作することだけが目的ではなく、課題に目を向け、その課題を解決するための製作品を製作するために、思考していくことが本来の目的であることを理解させる。	